（配布先）
支店長・副支店長
施工担当部署長・建設所長
副部長・副所長・統括工事長
安全長・安全主任
工事長・工事主任
関西支店取引業者災害防止協議会

事務連絡(安-2023-38)
令和５年 11 月６日

関西支店　安 全 環 境 部 長

墜落災害撲滅に向けた施策について(指示)

今年度、墜落災害撲滅のため、高所での安全帯１００％使用に向けた施策を展開中ですが、残念ながら次のような墜落災害が発生しています。

６月 17 日(土)：鳶工が鉄骨建方中に約 5.0m墜落（別紙１参照）

６月 24 日(土)：金建具工がサッシの取付け準備中に約 6.1m墜落（別紙２参照）

10 月 18 日(水)：吹付工が断熱材の検査中に 2.25m墜落（別紙３参照）

いずれも安全帯未使用の墜落災害ですが、２、３件目については所轄労働基準監督署より手摺の不備を強く指摘されています。

つきましては、墜落災害撲滅に向け、下記事項の徹底を作業所関係者に周知するよう指示します。

記

１．高所作業の計画においては、使用業者と打合せの上、作業姿勢を考慮した安全性が確保された床、手摺及びネット等を完備した、安全帯に頼らない作業床を提供すること。

２．作業床・手摺の設置が著しく困難で、安全帯のみに頼らざるを得ない高所作業（例：鉄骨建方）においては、監視人の配置を必須とすること。

※この事務連絡は、事務連絡 23-21（令和５年 10 月 31 日)安全環境本部発行に基づき作成しました。

以　上

（別紙１）

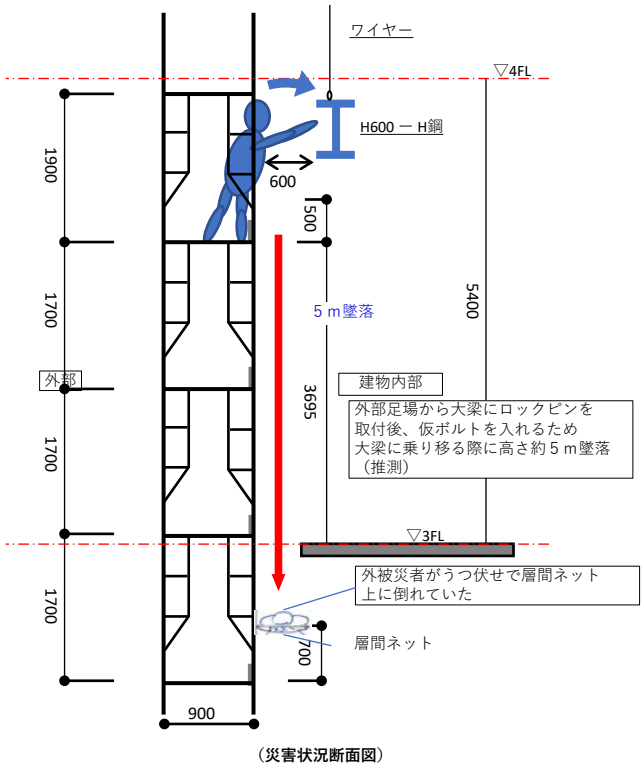
（ 墜落 ） 外部足場から鉄骨梁に乗り移ろうとした際に墜落

◇ 発生日時：2023年6月17日（ 土 ）午前10:58分頃　◇ 被災者 ：鳶工 24 歳（ 所属 3次 ）経験 7年

災害状況

(災害環境: 外周部鉄骨建方中)

(乗り移り状況)



(災害状況断面図)

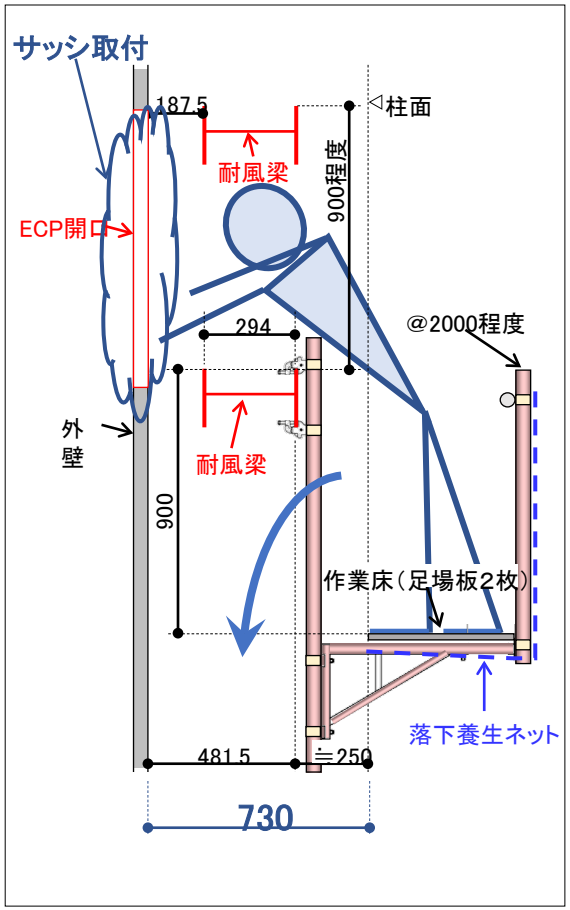
【発生状況】

4階床ﾚﾍﾞﾙの外部足場上で、外周部大梁鉄骨の取付作業中、大梁ｼﾞｮｲﾝﾄ部に仮ﾎﾞﾙﾄを入れるために鉄骨大梁に乗り移ろうとした際、安全帯未使用の状態であったため、3階床ﾚﾍﾞﾙに設置してあった層間ﾈｯﾄまで約5m墜落した。(現認者不在のため、詳細は推測)(左後頭部骨折、左手首複雑骨折、左骨盤骨折)(休業見込日数 60 日)

（別紙2）

（ 墜落 ） ブラケット足場から金建具工が墜落

◇ 発生日時：2023年6月24日（ 土 ）午後1:55分頃　◇ 被災者 ：金建具工 62 歳（ 所属 3次 ）経験 35年



【発生状況】

鉄骨梁に取付けたブラケット一側足場上でサッシを溶接するための準備作業中に、誤って作業床端部から足を踏み外して約6.1m墜落し、頭蓋骨骨折等となった。（足場と外壁との間が730㎜程離れており、かつ落下養生ネットが外壁際まで張られていなかった状態で安全帯未使用であった）（外傷性クモ膜下出血、頭蓋骨骨折、左手首･尺骨骨折）（休業見込日数 60 日）

【発生要因】

①足場と外壁との間が730㎜程離れており、かつ落下養生ネットが外壁際まで張られていなかった。

②当該足場の計画不足。

【対策】

①足場板を1枚追加し、落下養生ネットを耐風梁下まで立ち上げて張った。

②隙間のない足場を計画し設置する。

（別紙３）

（ 墜落 ） 免震基礎上で、断熱材吹付状況の確認中に墜落

◇ 発生日時：2023年10月18日（水）午後3:10分頃　◇ 被災者 ：吹付工 57 歳 （所属1次） 経験 4年

【発生状況】
基礎免震階で、天井面（1F床下）の断熱材吹付状況の検査において、高所作業車から基礎天端（H=2,250）に乗り移り、吹付状況を確認中、照度が低く端部が見にくい環境で、かつ手摺がなかったために、前向きに墜落し、空中で反転、背中から地面に着地した。（背骨骨折 ）（休業見込日数 120 日）